

わんぱくアドベンチャークラブ

7月講座活動報告

木育ワークショップ

感想一覧

- ・木で、お箸を作るのが楽しかった。(1年生)
- ・お母さんと一緒に勉強して、頑張って問題をやった。難しかった。(2年生)
- ・久しぶりに木の工作をできて楽しかったです。あと家で使うのが楽しみです。(3年生)
- ・箸作り楽しかった。(5年生)
- ・箸をカンナで削るのが、引っかかりたりして少し難しかったけれどあきらめずにできた。(6年生)

へんしゅうこうき 編集後記

木育ワークショップを行いました(マイ箸作りと子ども樹木博士認定会)。

令和4年度の第4回目の活動は、14名の団員が参加してくれました。夏休み初日と天候があまり良くない日でしたが、たくさんのご参加本当にありがとうございました。

今回は、「木育ワークショップ」と題して、木育マイスター 木育インストラクター 高橋英明様にご協力をいただきながら、マイ箸作りと子ども樹木博士認定会を開催しました。

マイ箸作りでは、鶴居村に生育している木(エゾヤマザクラ・キハダ)の2種類を使って、カンナや紙ヤスリで使いやすい箸をイメージしながら形を整え、焼きペンで

自分の名前や好きな模様などの焼き付けを行いました。また、子ども樹木博士認定会では、「北海道の木のえほん」から、鶴居村と北海道にもある13種類の木の特徴、種類や活用方法を学習しました。その後、えほんの中から問題が出題されて、答えられた数に応じて認定状が交付されました。

この木育のプログラムで、木育に関する知識や子どもたちの交流を深めながら学びも深めることができました。木は、地球の限りある資源です。使った分だけ無くなり、生育にはとても時間がかかります。これから、木でできた物を使う際には、長く大切に愛着を持って使うことができる優しい人に成長して欲しいなと思います。作った箸は、両親から初めて買ってもらった誕生日プレゼントのように、使えなくなるまで大事に使っていきましょうね。(編集者 吉田 綾稀)



活動の様子

